吟香会報

「吟香と劉生」を語る！
成羽美術館長　澤原一志氏

高梁市成羽美術館では数年前に「岸田劉生展」を開催しました。劉生は日本近代絵画史上燦然と輝く存在で、その短い生涯の中で絵画史に残る傑作を多数制作するとともに写実絵画に独自の境地を開きました。展覧会では有名な麗子像をはじめ、自画像や晩年に描いた日本画など、劉生の絵画世界を広く紹介してこの天才画家を顕彰しました。

劉生は岡山県北の旭町（現美咲町）が生んだ偉人岸田吟香の四男であり、この度遅ればせながら岸田吟香記念館を訪ねて沢山の資料を拝見し、あらためてこの父あっての初めて劉生ありという感慨を持った次第です。

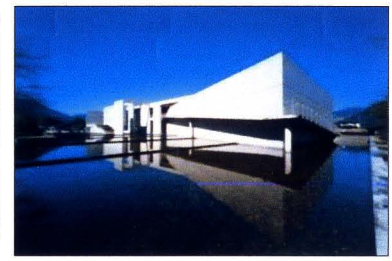
吟香は幼くして神童と呼ばれ江戸の昌平黌で学んだ後、名医ヘボンと共に日本初の和英辞典である「和英語林集成」を表すとともに水溶液目薬「精錡水」を製造し一大事業に育て上げました。また初めて邦字新聞を創刊したのも吟香で、我国の新聞創始者として文化や福祉面でも幅広く活躍しています。

岸田劉生の「劉生日記」や岩波書店から刊行した名著「初期肉筆浮世絵」など、優れた執筆も吟香の血を引き継いだものと思われます。

記念館では、劉生と共に弟の演出家辰彌についてのパネルも展示され、吟香の系譜をひく関係者についても学ぶことが出来ました。

仄聞するところによれば、この記念館は近々取り壊し新しい施設に移設されるとのこと、貴重な資料がさらに充実展示され岡山県民が誇るべき岸田吟香の顕彰が益々進むことを祈ってやみません。

澤原一志



成羽美術館
高梁市が生んだ洋画家児島虎次郎の遺徳を顕彰するため、昭和28年(1953)に開館する。
高梁市成羽町下原1068-3
☎0866-42-4455

編集・発行
岸田吟香を語り継ぐ会
発　足
2020年4月1日
事務局
山本登志夫
090-1015-2367

皆さん応援有り難う

岸田吟香を語り継ぐ会は、令和2年（2020）発足以来多くの皆さまに支えられ今年で3年目を迎えました。

会員は現在92人、皆さまの浄財（会費）により運営が出来ておりますこと心から感謝申し上げます。

運営にあたっては、各地域から選出された世話人14人が、調査研究や皆さまへの情報提供、全国に知名度を揚げる活動を行っています。

本年4月から東京事務所と岡山事務所を開設し、更に運動を盛り上げていこうと張り切っています。

●会員の状況

令和2年（2020）発足	38人
令和3年（2021）	75人
令和4年（2022）現在	92人

●会員の範囲（2022）

美咲町内	30人
岡山県北地域（津山市他）	30人
岡山県南地域（岡山市他）	18人
岡山県外	14人

※岡山県外は、東京7、横浜1、栃木1、北海道1、京都1、兵庫3人です。

●会員募集中

会員（応援者）を募集しています。会員の皆さん、興味がある方をご紹介ください。会費一人年額1000円です。応援よろしくお願いします。

QRコード☛

孤児の救済
大野唯四郎を尋ねる！

石井十次（岡山県）より早く孤児の救済に立ち上がり、明治12年、吟香の指導を受けながら「丹波愛育堂（兵庫県）」を創設した大野唯四郎を尋ねる勉強会を計画しました。

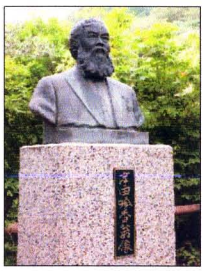
参加希望者はご連絡ください。

- 日時　令和4年10月25日（火）
- 集合　美咲町総合体育館前
  午前7時30分発（帰18時着）
- 費用　1人6,000円（レンタ料含む）
- 締切　10月11日（火）まで
- 申し込み　山本（090-1015-2367）

「やるきいっぱい岸田吟香」ジュニア版　発行予定

令和五年（二〇二三）年は岸田吟香生誕一九〇年の節目の年にあたります。語り継ぐ会では、この年を記念して事業を考えていたとき、町内の小学校からアイデアをいただき「ジュニア版」のパンフレットを制作することにしました。

費用は皆さんから頂いた浄財（会費）を活用し、完成後は小・中学校等に配布、勿論皆さんのお手元にもお届けしたいと考えています。



さて、令和七年（二〇二五）は美咲町合併二十周年の節目の年にあたりますが、吟香没後一二〇年の節目の年にもなることから、語り継ぐ会では以降三か年で各種事業を検討しています。

その第一弾がジュニア用パンフです。追ってご案内をいたしますので、ご支援とご協力をくださいますようお願いします。

吟香記念館に現代画家展示場

このほど、岸田吟香記念館（旭文化会館）に併設し、吟香の末裔で現代画家岸田夏子氏（東京）同岸田尚氏（東京）吟香の実弟熊次郎の末裔で布下満氏（旧姓岸田、総社市）の展示場を開設しました。美咲町教育委員会よりお借りしたショーケースに展示したもので、九月三日には東洋大学文学部（東京）木村一教授ら六人、また新聞王ジョセフ・ヒコ生誕・兵庫県播磨町から伊田冠館長ら一三人が来訪されました。

この展示場には、孤児救済に立ち上がり吟香の指導を受け丹波愛育堂を開設した大野唯四郎や私たち語り継ぐ会の資料も展示していますので、ご来場の際は是非ご覧ください。

吟香記念館に併設した展示場

特別展「吉備路近代文学の七人展～生誕・没後記念」

吉備路文学館では、吟香を含む7人展を計画しています。是非ご覧ください。

日時　11月13日(日)～2月26日(日) 9:30～
場所　岡山市北区南方3-5-35
電話086-223-7411

編集後記

すっきりした秋晴れの季節になりました。コロナ禍大丈夫ですか。変則ですが第四号が出来ましたのでお届けします。ご意見お待ちしています。

山本